

九州地方整備局 入札監視委員会第二部会 審議概要

| | | |
|--------------------------|---|---|
| 開催日及び場所 | 令和3年11月30日(火) 東福第二ビル 101会議室 | |
| 委員 | 矢野 真一郎(大学院教授)、横田 守弘(大学院教授)、作間 功(弁護士) 順不同 | |
| 審議対象期間 | 令和3年4月1日～令和3年9月30日 | |
| 抽出案件 | 総件数 6件 | (備考) |
| 一般競争 | 3件 | ・審議対象期間内に契約した案件の契約方式毎の概要を報告 ・審議対象期間内における指名停止の運用状況等を報告 ・一者応札、高落札率、不調・不落、再度入札における一位不動、低入札の発生状況を報告 |
| 工事希望型競争 | 0件 対象期間中の案件無し | |
| 通常指名競争 | 0件 対象期間中の案件無し | |
| 随意契約 | 0件 対象期間中の案件無し | |
| 建設コンサルタント業務等 | 2件 | |
| 役務・物品等 | 1件 | |
| | 意見・質問 | |
| 委員からの意見・質問、 それに対する回答等 | 別紙のとおり | 別紙のとおり |
| 委員会による意見の 具申又は勧告の内容 | なし | |

| | 報告・意見・質問 | 回答 |
|--------------------------|---|---|
| 【入札契約運用状況等の報告】 | 1. 総括表(工事、コンサル、物品役務) 2. 指名停止の運用状況 3. 一者応札の発生状況 4. 不調・不落の発生状況 5. 高落札率の発生状況 6. 再度入札における一位不動状況 7. 低入札価格調査制度対象工事の発生状況 8. 入札談合に関する情報等への対応状況 | (備考) 各項目の報告 |
| 委員からの意見・質問、 それに対する回答等 | <p>【 工 事 】 (政府調達に関する協定適用対象工事)</p> <p>①令和3年度鹿児島港(谷山二区)係留施設築造工事 (第2次)</p> <p>A. 入札する時点で、自社の総合評価点数を各参加者はわかっているのか? 各社の評価点や、点差などの情報がわかれば調査基準価格はほぼ計算できるので絶対に逆転されない範囲で最も有利な金額を評価点1位の者が実質的に決められることになる。</p> <hr/> <p>【 工 事 】 (政府調達以外・港湾土木)</p> <p>②令和3年度下関港(新港地区)岸壁(-12m)築造工事</p> <p>A. 総合評価にかかる評価基準は、入札者に伝わっているのか?</p> <p>B. 自社の工事実績、成績や表彰点などはある程度推測できると思うが、技術提案の評価はどのくらい評価されるかわからないということか?</p> <p>C. 過去に同種工事に参加した業者は、提案についてどのように評価されるか推測できるのではないかと? 評価点が推測できないようにしないと入札の意味がないのでは?</p> <p>D. 同種工事であってもテーマを変えることで評価点数が変わってくるということだが、テーマを変えた結果選ばれる業者が変わってくると言うのは最善の結果に繋がるのか?</p> <hr/> <p>【 工 事 】 (政府調達以外・港湾土木以外)</p> <p>③令和3年度大分空港滑走路地盤改良工事</p> <p>A. チャレンジ型は前年度も採用しているのか?</p> <p>B. チャレンジ型を採用したことでこれまで参加がなかった業者は参加したのか?</p> | <p>A'. 評価点は入札時点ではわからない。</p> <hr/> <p>A'. 入札説明書に記載している。</p> <p>B'. 工事成績などの実績点は自己採点表の提出によって双方で確認するようにしているが、技術提案評価を含めた総合点数は入札時点ではわからない。</p> <p>C'. 評価テーマは毎回変えており、同種工事の参加者であっても同じ点数になるとは限らない。</p> <p>D'. 評価テーマは工事の内容や特色に沿った内容で毎回設定しており、技術力の評価としては問題ないと考えている。</p> <hr/> <p>A'. 近年、参加者が1～2者と少ない傾向が続いたため、今回よりチャレンジ型を採用した。</p> <p>B'. これまで参加がなかった業者も参加している。</p> |

(別紙) 令和3年度 第2回入札監視委員会 (令和3年11月30日)

| | 報告・意見・質問 | 回答 |
|--|--|---|
| | <p>C. これまでの説明ではどの企業も調査基準価格に近い額で入札できるということだが、落札額からかなり離れた金額の者が複数おり受注意欲が低いように見受けられる。評価点も低くなっているが、これをどうとらえているか？</p> <p>D. 評価点1位と2位に約5点弱の差があるが、この開きはどの程度の差として評価されるのか？</p> <p>E. 調査基準価格を下回ったため無効となった業者には、無効の理由は伝わるのか？</p> <p>F. 各社の評価点数結果は業者側に個別に伝えられるのか？自社の提案がどのように評価されたかを学習し、次回参加時に改善できるようになっているのか？</p> <p>G. 公表は点数のみか？ 他社に比べてどこで差が付いたかなどはわかるのか？</p> | <p>C'. 推測であるが、本工事は特殊な工事であるため、新たな資機材など準備する必要があり、会社として高い金額になったのではないかと考えている。</p> <p>D'. 今回の点数、落札金額から金額に換算すると1点あたりが約200万円の差となる。工事価格に応じて1点あたりの金額的な重みは変わってくる。</p> <p>E'. 調査基準価格を下回った場合、施工体制確認を行う。施工体制確認資料の提出依頼、ヒアリング通知の連絡がいくことで調査基準価格を下回ったことが伝わり、資料提出、ヒアリングを辞退することをもって無効となる。</p> <p>F'. 評価点の内訳は公表する。 評価結果を踏まえて次回、提案を改善することは可能である。評価点数は各社個別に通知するのではなく全社の点数が公表される。</p> <p>G'. 点数のみ公表する。 提案や評価の内容は公表していない。</p> |
| | <p>建設コンサルタント業務等】 (簡易公募型プロポーザル方式)</p> <p>④令和3年度苅田港埋没対策検討業務</p> <p>A. 選定手順のフローの中でヒアリングの実施とあるが、共同体の構成員全員をそれぞれヒアリングするのか？</p> | <p>A'. 共同体の場合は、代表者に対してヒアリングを行う。</p> |
| | <p>【建設コンサルタント業務等】 (参加の有無を確認する公募手続を行った契約方式)</p> <p>⑤令和3年度大分空港護岸水理特性検討調査</p> <p>A. 縮尺模型を使用した水理実験と言うことだが、1/25～1/36というスケールはどのようにして決めたのか？</p> <p>B. このスケールの模型で実験できるのは特定法人だけではなく、他にも実験できる装置を持っている会社がある条件での発注ということか？</p> | <p>A'. 一般的に水路の大きさなどで模型のスケールは決まってくる。民間でも平面水槽や断面水槽などの模型を保有している企業がいくつかあるが、1/25から1/36のスケールであることが多い。 この範囲の幅であれば実験結果への影響は少ない。</p> <p>B'. 実験装置を持っている者は複数いる。実験に加えて数値解析モデルの検証ができるところは我々としてはこの特定法人のみと考えているが、この内容をほかの民間企業も含めて実施できるか確認する公示をしたが、今回は手が挙がらなかった。</p> |

(別紙) 令和3年度 第2回入札監視委員会 (令和3年11月30日)

| | 報告・意見・質問 | 回答 |
|--|---|---|
| | <p>C. この業務内容は民間企業でもできるのではないか？手を挙げなかった理由としては参加に見合う内容かどうかということもあると思うが、技術的に誰もいなかったから手が挙げられなかったということではないのか？</p> <p>【役務の提供及び物品の製造等】 (企画競争方式)</p> <p>⑥令和3年度九州地域の港湾整備に関連する企業の投資動向調査</p> <p>A. この業務は技術的な業務ではなく、意見交換会開催や資料収集などを行う内容だが、技術者に求める経験能力とは、どのような能力を念頭に置いているのか？</p> <p>B. 輸出の現状や脱炭素化などかなり広い内容の業務であり、工事関係のコンサル業務などと比べると、評価がしにくいのではないのか？</p> <p>C. この者以外に手を挙げることは考えられるか？</p> | <p>C'. 技術的には民間にも実施可能な者が存在するかもしれないが、現時点で、当局ではこの特定法人以外に解析まで含めた内容を履行可能な者を把握できない。このため他に履行可能な者がいないか公示して確認をしたが今回は参加者がいなかった。</p> <p>A'. 企業や業界に精通していることや、港湾物流の調査研究をしているという内容について評価している。</p> <p>B'. 通常のコンサルタント業務と異なり資格を求めることはせず、過去の同種業務の実績を参考にしている。業界との人脈や豊富なヒアリング経験からテーマに沿ったヒアリング企業の選定理由が整理されていることを企画提案書の内容で評価している。</p> <p>C'. 事前にシミュレーションしており、要件を満たす社が十数社いることは確認している。結果的に1社しか手を挙げなかった。</p> |
| | <p>【全体】</p> <p>「抽出事案」については、不適切な点や改善すべき点は認められず、「適正」に契約が執行されている。</p> | |